

# 説明書：接種前にお読みください

## ～帯状疱疹予防接種をご希望の方へ～

### ●帯状疱疹とは

帯状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘帯状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「帯状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

帯状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

### ●帯状疱疹ワクチンとは

帯状疱疹ワクチンには**生ワクチン**（阪大微研：乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」）、**組換えワクチン**（GSK社：シングリックス）の2種類があり、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、帯状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

なお、定期接種において帯状疱疹予防ワクチンが接種できるのは、生涯1度のみです。

	生ワクチン「ビケン」	組換えワクチン「シングリックス」
接種回数（接種方法）	1回（皮下接種）	2回（筋肉内接種）
接種スケジュール	—	通常、2か月以上の間隔を置いて2回接種 ※病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。
接種できない方	病気や治療によって、免疫が低下している方は接種出来ません。	免疫の状態に関わらず接種可能です。
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6か月以上置いて接種してください。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。

### ●帯状疱疹ワクチンの効果

		生ワクチン「ビケン」	組換えワクチン「シングリックス」
帯状疱疹に対する ワクチンの効果 (報告)	接種後1年時点	6割程度の予防効果	9割以上の予防効果
	接種後5年時点	4割程度の予防効果	9割程度の予防効果
	接種後10年時点	—	7割程度の予防効果

※合併症の一つである、帯状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチン「ビケン」は6割程度、組換えワクチン「シングリックス」は9割以上と報告されています。

### ●帯状疱疹ワクチンの安全性

ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、生ワクチン「ビケン」については、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチン「シングリックス」については、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

主な副反応の発現割合	生ワクチン「ビケン」	組換えワクチン「シングリックス」
70%以上	—	疼痛*
30%以上	発赤*	発赤* 筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感*、熱感* 腫脹*、疼痛*、硬結*	頭痛、腫脹* 悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感*、倦怠感、 その他の疼痛

\*ワクチンを接種した部位の症状 各社の添付文書より厚労省にて作成

### ●他のワクチンとの同時接種・接種間隔

いずれの帯状疱疹ワクチンについても、医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。ただし、生ワクチン「ビケン」については、他の生ワクチンと27日以上の間隔を置いて接種してください。

### ●接種が不適当な方（予防接種を受けることが適当でない方）

次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種を行ってはいけません。

- ① 明らかな発熱を呈している方
- ② 重篤な急性疾患にかかっている方
- ③ 接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな方
- ④ 【生ワクチン「ビケン」接種希望の方】病気や治療によって、免疫が低下している方
- ⑤ 医師が不適当な状態と判断した方

### ●接種要注意者（接種の判断を行うに際し、注意を要する方）

健康状態及び体質を勘案し、次のいずれかに該当すると認められる場合には、注意して接種を受けなければいけません。

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患などの基礎疾患がある方
- ② 予防接種後2日以内に発熱したことがある方、または全身性発疹などのアレルギーを疑う症状になったことがある方
- ③ 接種液の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方
- ④ 過去にけいれんを起こしたことがある方
- ⑤ 過去に免疫不全の診断を受けている方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑥ 【組換えワクチン「シングリックス」接種希望の方】血小板が少ない方、または出血しやすい方

### ●予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ① ワクチン接種後24時間は副反応の出現に注意し、様子を見てください。特に接種後の30分以内は健康状態の変化に注意しましょう。
- ② 接種部位は、清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種した部位を強くこすことは避けましょう。
- ③ 接種当日はいつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動は避けましょう。
- ④ 接種後、接種した部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。

### ●予防接種健康被害救済制度について

定期予防接種による副反応のために、医療機関での入院治療が必要とされる程度の健康被害が生じた場合には、法律に定められた健康被害救済制度があります。

\*接種を受ける法律上の義務は無く、自らの意思で接種を希望する方のみが行うものです。